

東日本大震災への取り組み 今、私たちにできること

3月11日14時46分ごろ、三陸沖を震源とする巨大地震が発生し、
太平洋沿岸を中心に高い津波による大きな被害がありました。

この東日本大震災ではたくさんの尊い人命が失われ、
多くの方が避難生活を強いられています。

お亡くなりになった方々とご家族の皆さまへお悔やみを申し上げます。

東日本大震災に伴うコープの対応

ユーコープは、当日15:00に専務補佐(当時)を本部長とする対策本部を設置し、震災発生直後から地域の皆さまの生活に必要な商品の供給を行うことを使命と考えて業務に当たりました。また、被災された方々の生活支援のための募金活動、支援物資の提供やお見舞い活動など、全国の生協とともに助け合いの心をともにして、被災地の支援に取り組んできました。

コープは商品の調達に全力を尽くしましたが、東北地方から北関東にかけて多くのお取引先が被災され、燃料不足や計画停電が発生したために商品製造から物流機能まで大変な混乱状態となりました。さらに商品が不足したことや福島第一原発事故による放射性物質の拡散による不安感からの「買い急ぎ」が起きました。危機対応について真摯に学び、教訓として今後に生かしていきたいと考えます。



燃料(軽油)や毛布、ブルーシートなど4万点を越える支援物資をお届けしました



コープしずおかと静岡県生協連では、いわて生協で500人分の豚汁の炊き出しを行いました

被災地の生協への支援

全国の生協と協力して被災地域の生協(コープ東北サンネット事業連合)の支援に取り組みました。東日本大震災支援隊は各10名の職員で構成した第1陣、第2陣がおうちCO-OPのトラックを使って1週間ずつ現地で物流支援・店舗支援などを行いました。

また、ユーコープ保障事業部共済推進課からも2名が、コープふくしまの「CO・OP共済ご契約者訪問活動」の支援に行きました。



支援隊第1陣として10名を1週間派遣



支援隊の出発



支援隊第2陣(10名)

被災地への義援金募金の取り組み



「東日本大震災義援金募金」の活動
(コープかながわ 片倉店)



「東日本大震災義援金募金」の活動
(コープかながわ 大和市エリア会)

被災地への支援として、震災発生直後から「東日本大震災義援金募金」に取り組んでいます。多くの組合員の皆さまからご協力をいただき、1億7,000万円を超える募金が寄せられました(7月5日現在)。募金は、日本生協連を通して被災者にお届けします。

コープ産直産地へのお見舞い・応援メッセージ

コープの産直産地や関連団体でも多くの被害がありました。コープは組合員とともに産直産地向けの募金と生産者への応援メッセージの募集などを行いました。

「産直関係者への募金」は約4,100万円、応援メッセージは200枚を超えました。募金は、お見舞い金、事業災害支援金としてメッセージカードとともに産地にお届けしました。



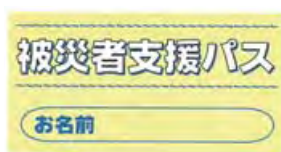
生産者を応援しようと、4月15日、市民生協やまなし ちづか店で「コープ産直産地応援バザー」を開催しました



ユーコープ商品本部長前田祐滋(右)が5月下旬に被災地を訪問してお見舞いを申し上げ、募金をお渡ししました(左は、グリーン・プログラム特別栽培米岩手ひとめぼれの産地 JA岩手ふるさと阿部統括)

被災地から避難されてきた皆さまの応援

被災地から避難されてきた方々への支援として、「おうちCO-OP」の宅配サービス料を無料としました。また、店舗では、被災者支援パスを発行し、レジでご提示いただくとお買い上げ総額から5%をお引きし、お買い物袋を無料でお渡りするようになりました。



コープの「被災者支援パス」

被災地支援セールの実施

「東日本大震災 被災地支援セール」を行い、供給総額(税抜き)の1%相当額を「東日本大震災義援金募金」と合わせて義援金としてお渡します。



被災産地の商品を集合陳列してご案内(コープかながわ ハーモス相模大野)



第2陣隊長
ユーコープ
河澄 一志

人々のくらしや思い出は跡形もなく失われており、言葉を失いました。しかし、このような中でも、現地の方々は必死に暮らし、生きようとしていました。そしてコープはそれを支えようとしていました。このことは、被災状況と同じように私の記憶から生涯消えることはありません。復興には時間がかかると予想されます。今も被災地で必死に前に進もうとしている人々がいることを忘れず、今、それぞれの地ですることを行い、前に進むことが私たちの役割だと感じています。

●CO・OP共済ご契約者訪問メンバー

津波のひどかった地域では、地平線までがれきの光景に愕然としました。共済のご契約者を訪問して組合員一人ひとりと話しました。「お見舞い金をいただけたと思わなかった。加入していて良かった」と言われ、「CO・OP共済」は、組合員が困っているときに寄り添うことができるコープ商品だとあらためて肌で感じました。



末高 義子(左)
米谷 洋子(右)

